

元気な草加 優しい越谷

NEWS LETTER

衆議院議員・弁護士

細川律夫



2006年3月2日 No.113

細川律夫国会事務所 TEL 03-3508-7513 FAX 03-3593-7148

細川律夫後援会本部 TEL 048-966-5115 FAX 048-965-8818

E-mail : g04091@shugiin.go.jp ホームページ : <http://minshu.org/hosokawa/>

細川議員予算委で2度目の質問



タクシーは混乱が続く

衆議院予算委員会は28日午前、構造改革と地方経済等についての集中審議を開き、民主党・無所属クラブから質問に立った細川律夫議員は、タクシーの規制緩和の問題点を例に、小泉政権が推し進めてきた改革の「影」を厳しく指摘した。

細川議員は冒頭、平成14年2月の道路運

細川議員、北側国交相、小泉首相、大島予算委員長ら

予算案は衆議院を通過

平成18年度予算案は3月2日、委員会採決に引き続き、衆議院本会議で採決が行われ、民主党など野党は反対したものの、賛成多数で可決されました。

それに先立ち、細川律夫代議士は、この委員会で2回目の質問を、2月28日、小泉総理、国土交通大臣に対して行いました。この部分を民主党のHPより引用します。

送法改正によるタクシーの規制緩和に言及。車両数や乗務員の労働時間や事故が増加した一方、輸送人員や所得は減少した現実を、具体的な数字を挙げて説明した上で、規制緩和は成功だったと考えるか、小泉首相に質した。首相は、運賃やサービスの多様化が進んだと新規参入の効果を強調し、「今回の規制改革がタクシー業界を一方向的に過酷な状況にしていると断定するのはまだ早い」などと答弁した。

運転者資格制度を

細川議員は大阪や仙台で実施した現地視察にも触れ、過剰競争による弊害と、規制緩和の影の係性を指摘。法律の中できちんと対応ができていないのか、北側国土交通大臣に答弁を求めた。北川国交相は「確かに問題点が昨今ある」と認め、川崎厚労大臣も、重大な関心をもって監督監査にあたるとした。

これに対して細川議員は、今の業界の実態について「改正道路運送法や労働基準法の枠内では、なかなか解決にならない」と述べ、法制度の修正などの



抜本的な改革が必要と主張。また、サービスの質を高めるための資格制度創設について見解を質した。北川国交相は、今後望ましいタクシーサービスの実現に必要な環境の整備に務めるため、検討する考えを示した。

首相は格差を肯定する答弁

細川議員はまた、運転手の収入に地域間格差が見られることを例に、格差問題の解決策について首相の見解を求めた。小泉首相は、物価や地価にも違いがあるとして、「格差があるから悪いとは限らない」と主張。業界間・地域間での競争によって、サービス水準が向上するなど、良い点を伸ばすことができるとの考えを述べた。細川議員は、国民の多くが感じている「格差」の実感を受け入れるように要請。その上で、格差という小泉改革の「影」の部分が社会に与える影響を考慮し、是正すべきではないかと指摘して質問を終えた。

メール問題、申し訳ありません

堀江メール問題では皆様にご心配をおかけしました。私も、筆頭理事として予算委員会の運営に当たっている立場上、全く無関係ではなく、責任の一端を負っているとの思いも強く、心からお詫び申し上げる次第です。先日、永田議員が記者会見で謝罪をしましたが、これだけでこの問題が終わったわけではなく、まだ永田議員本人も、また民主党としても、確証がないのにもかかわらず質問した件に関して責任の取り方が議論されることと思います。

しかし、これによって、堀江氏が総選挙に出馬し、武部幹事長をはじめ自民党が公認候補なみに応援したという事実、さらにはその周辺に漂う疑惑が全て消えたわけでもなく、これらを追及することも野党の使命だと考えております。今後も民主党の名誉回復のため精一杯がんばります。

(細川律夫 HP「今日の一言」より)



さいたま市で講演する細川律夫代議士

細川律夫より一言
今夕予算案が衆院で通過
しました。予算委員会ではBSE、ライ
ブCPIの問題、而して偽装、官製酪
合車には格差問題など小泉内閣
の失政と批判を述べた。メール問題
でつなぐ。究に予決念である。